

第4回おかやま協働のまちづくり賞テーマについて

1 実施経過

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
募集テーマ	「笑顔」と「場づくり」	「楽しんで年を重ねられる社会のために」	「やりがいと豊かな暮らし」 (SDGs 8, 11)
募集期間	10月5日～12月5日	9月1日～10月31日	7月20日～10月19日
応募取組	20取組	13取組	9取組
インターネット投票（協働推進サイト「つながる協働ひろば」で実施）	12月10日～12月25日実施 688人投票 (1376票)	11月13日～12月10日実施 375人投票 (750票)	11月5日～12月2日実施 254人投票 (508票)
審査	12月9日～1月4日 協働推進委員において書類審査し、正副委員長会議で入賞5取組決定 2月19日開催のフォーラムで最終審査をし、大賞1取組を決定	12月19日 協働推進委員会において審査 大賞1、入賞4、奨励賞8取組を決定	12月19日 岡山市協働推進委員会で審査 大賞1、入賞4、奨励賞4取組を決定
表彰	2月19日 入賞5取組に学ぶ市民協働フォーラムを開催 大賞1、入賞4取組に表彰状と賞金を授与	2月18日 表彰式と支え合いの地域づくり実践交流会を開催 大賞1、入賞4取組に表彰状、賞金、トロフィーを、奨励賞8取組に賞状、トロフィーを授与	2月17日 協働のまちづくり賞表彰式&SDGsフォーラムを開催 大賞1、入賞4取組に表彰状、賞金、トロフィーを、奨励賞4取組に賞状、トロフィーを授与

2 来年度のテーマ案について

★SDGsの17のテーマより

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none">・人間らしい生活を送るために・子どもと女性に優しい社会・輝く社会・シングルマザー・シングルファーザーを応援できる社会 <p>(30年度テーマ意見)</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none">・岡山型の循環型社会の実現に向けて・おいしいものが近くで食べられる地産地消・食品ロスをなくす(余った食材を子ども食堂に提供など)・持続可能なライフスタイルを意識する <p>(30年度テーマ意見)</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none">・何かのギャップから生まれる弊害を解決する・年齢、性別などに関わりなく、能力向上や社会参加ができる・多様性を尊重し誰もが生きがいをもてる社会をつくる・所得格差、年齢格差などの弊害や溝を埋める
 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none">・再生可能エネルギー、クリーンエネルギーの普及・研究・循環型エネルギーによる地域づくり

★表彰制度についてのご意見

- ・募集日程について
- ・審査について など

2月17日開催の表彰式&SDGsフォーラムアンケートより抜粋

<分科会3>

- ◆ 事例発表について
 - ・ 具体的な内容が聞けて良かった
 - ・ 他の団体の活動内容を知ることができて良かった
 - ・ いろんな活動がわかって良かった
 - ・ どの活動も参考になるべきものがありました
 - ・ 今まで知らなかった活動がたくさんあり、岡山がとてもいいところなんだと再確認できました
 - ・ 報告内容が身近なことで非常にわかりやすかった。日頃見聞きする問題に実際に取り組まれているからお話が非常に面白かった
 - ・ おかやま協働のまちづくり賞受賞団体の事例が参考になった
 - ・ いろいろな取り組み事例を聞いて多くのヒントが得られた
 - ・ それぞれの取り組み、素晴らしいと感動しました
 - ・ 感動しました。志を高く持ち、あきらめずに活動を続けておられる方々に敬意を表します。持続可能な活動として後世まで続いてほしいです。
 - ・ 岡山市でどのようなことがされているかがよく分かった
- ◆ 協働について
 - ・ 自ら動こうと思えばやはりできるということ。そして自分がしたいことを県、市などに相談してみるなど、今後周りを変えたいと思った時の行動についてのヒントを得られた
 - ・ こんなに他分野の方々とつながり合える岡山の力はすごいです
 - ・ 市内で協働の取り組みが広がっていると感じた
- ◆ その他
 - ・ 内容は良かったが質問の時間不足
 - ・ 課題を見つけた人からとりあえず動き出すことで新しいつながりが生まれ解決に向かっていくのですね
 - ・ 西日本豪雨災害支援ボランティアの方の発表が良かったです
 - ・ ひよこ食堂の方の個人の思いから広がることを期待します

<まちづくり賞テーマ>

- ・世代間ギャップをはじめ、何かのギャップから生まれる弊害や可能性について
- ・「つくる責任、つかう責任」をケアした商品、動きについて
- ・3世代が学び合うまちづくり
- ・地域団体の啓発と応援ができるもの
- ・専門性を生かした社会貢献活動
- ・フリーテーマ
- ・世代を超えたつながりの場
- ・岡山で多く取り組まれている1・2・7・11～16などは大切だと思います。ただ競わせるというよりは認め合うことがより重要だと思います。
- ・寺・祭り・遺跡など地域資源を生かした取り組み
- ・国際関係
- ・未来を変える
- ・17 パートナースHIP。特に学校行政をはじめ、ともすれば硬直体制となりがちなフィールドにおけるグッドプラクティスを！
- ・前世代から受け継ぎ、次世代へ継承していくべきもの
- ・エネルギーをみんなに。そしてクリーンに
- ・食と安全、スポーツによるまちづくり
- ・岡山のSDGsと世界のSDGs。(本当に2030年までに世界の貧困をなくせるか?)